

整理番号 S-128

出 展 織物欠点解析事例集(第 3 集)

欠 点 名 よこ斑(原糸異常)

品 名 ニット

試料形態 編物

組 織 丸編

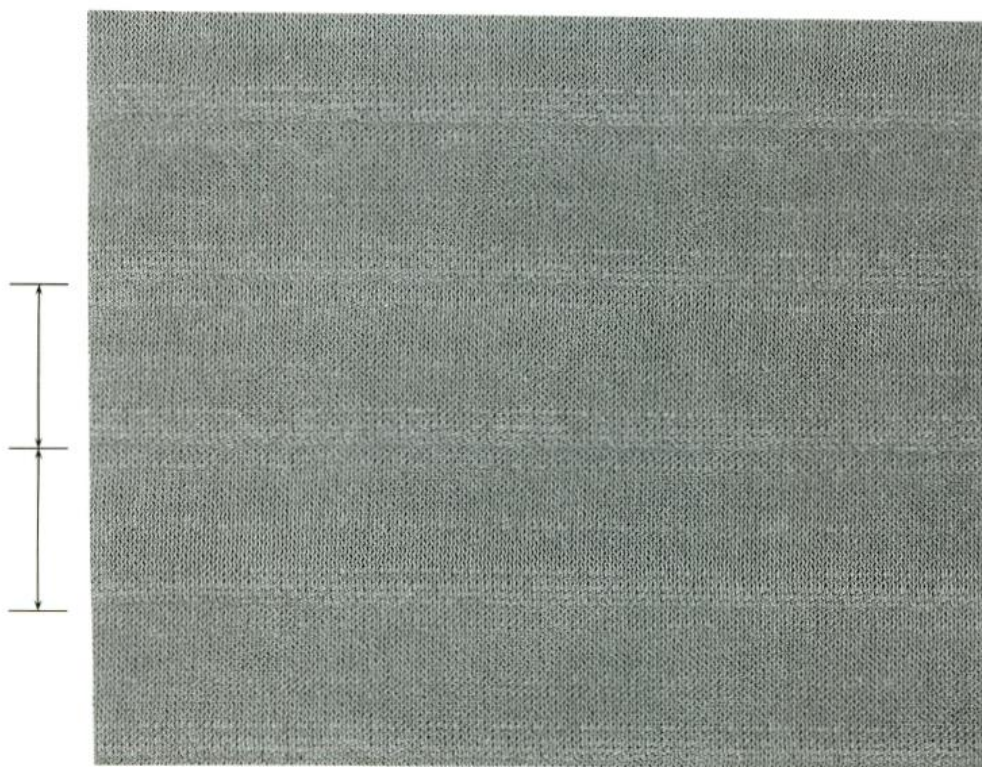
糸 使 い

ポリエステル/レーヨン混紡糸 30^s

欠点発生状況

丸編機(48 口)で編成したもので、加正後たて方向に約 10mm の間隔で濃淡の段が発現した。生機検査では発見されていない。濃淡の段は 24 本周期で発現している。

試料写真



試験結果

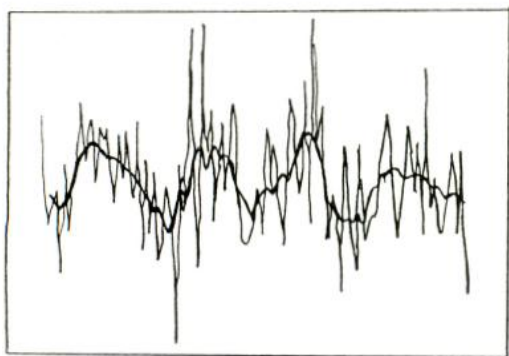
(1)混用率

- ・濃色部、淡色部ともにポリエステル 68.3%、レーヨン 31.7%で差がない。

(2)織度測定

- ・濃色部、淡色部ともに $29.5 \sim 28.0^\circ$ で有意差はないが、7 項移動平均をとると周期性があった。

見 掛 織 度

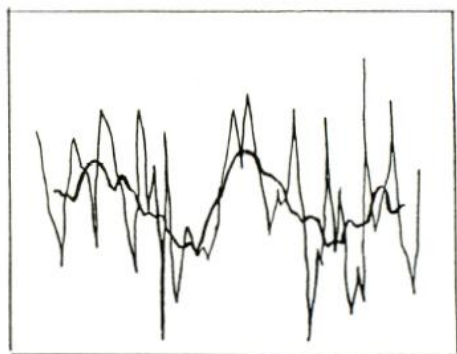


7 項 移 動 平 均

(3)撚数測定

- ・濃部、淡部ともに(Z)700~800T/m の範囲で平均値に有意差はないが、7 項移動平均をとると周期性があった。

撚 数



7 項 移 動 平 均

(4)マイクロスコープ観察

- ・紡績糸の表面のレーヨンの現れ方が濃色部と淡色部に差がある。

所 見

紡績糸の表面のレーヨンの現れ方に濃色部と淡色部に差があること、および見掛繊度と撚数に周期性があることの 2 点が混合作用してよこ段を発生させたと判断される。

本欠点は、原糸ロットの変更により解消した。
